

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|-------|--|----------|---|---------|
| - | - | - | 全体として、政策立案がEBPM(Evidence Based Policy Making)の精神に則っているか、変化を許容しつつも、あるべき姿に向けた現状把握のあり方も取り組みの方向性に組み込むなど、もう少し緻密に検討すべき節もあるように見受けました。また、目標指標はKPIなのかKGIなのか、これも部署によって揃っていないように感じます。 | ○:計画修正あり | 節ごとの記載内容については、この度、審議会委員の皆様から各節の記載内容についていただいたご意見を踏まえながら、所管部署に確認し、必要な修正を行います。 KPIとKGIについては、何をゴールとして捉えるかにより位置付けが変わる部分もあろうかとは思いますが、基本的には、取組が実行され、適切に作用されているかを評価する中間的な指標であるKPIとして設定しています。その上で、各分野のKPIを比較した際レベル感の違いを感じるものもあるかとは思いますが、指標の意義、数値の入手方法、毎年の数値確認の可否などを総合的に判断して設定しているところです。 | 政策企画課 |
| 1 | | | 発足から10年を迎える「安来市社会福祉法人連絡会」について、基本計画第1章中のいづれかの節に盛り込むことをご検討ください。本連絡会は、県内でも先進的な取り組みとして注目されており、地域福祉の実践基盤として重要な役割を担っています。その意味でも、「ALLYASUGIスピリット」の欄などに位置づけることで、安来市の福祉の姿勢や協働の精神をより鮮明に示すことができるのではないかと考えますがいかがでしょうか。 | ○:計画修正あり | 基本計画第1章第3節「ALL YASUGI スピリット」欄を次の通り修正し、「安来市社会福祉法人連絡会」を介護人材確保の取り組みにおける重要な機関と位置づけます。 【安来市では介護人材の確保に力を入れています。～（中略）～安来市社会福祉法人連絡会や健康福祉短期大学と連携した介護職員初任者研修の実施など、様々な角度から将来の介護人材として期待される若年層へ介護職の魅力を伝え、介護人材の確保・定着に取り組んでいます。】 | 介護保険課 |
| 1 | 1 | 取組の方向 | 持続可能な医療体制の構築に関して、現状でのプランを示していただけるといいと思いますが。 | ○:計画修正あり | 持続可能な医療体制の構築に向けた具体的なプランを示すため、「取組の方向」を次のとおり修正します。 【（修正前）・将来の社会構造の変化に対応した、持続可能な医療提供体制の構築を進めます。】 【（修正後）・市内病院の再編・集約化に向けた取組を進めます。】 | 地域医療推進室 |
| 1 | 2 | 現状と課題 | ・「8050問題やヤングケアラー、ダブルケアなど」は、現状はしっかりした定義がある言葉ではなく、やや流行語的なところがあるため、注釈をつけたほうが良いと思います。 | ○:計画修正あり | 安来市 地域福祉計画・地域福祉活動計画（第4期計画）における定義に合わせ、注釈を追記します。 ※8050問題：80代の親と収入のないひきこもりの50代の子の世帯が、収入が途絶え、社会的に孤立した状態に陥っている社会問題 ※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと ※ダブルケア：子育てを行っている家庭が親などの介護や世話を同時に実行する必要がある状態のこと | 福祉課 |
| 1 | 2 | 現状と課題 | 担い手育成やネットワーク構築に関してその中枢となる社会福祉協議会の現状の組織体勢等について具体的に記載することは出来ませんか。 | ○:計画修正あり | 社会福祉協議会の組織体勢等について、市の総合計画において説明することは適切でないと考えるため記載いたしませんが、社会福祉協議会との具体的な連携について示すため、「取組の方向」に次のとおり追記します。 【・社会福祉協議会が実施する生活支援コーディネーターや生活支援協議体等の取組を支援し、地域住民の支え合い活動等を促進します。】 | 福祉課 |
| 1 | 2 | 目標指標 | ・「健康福祉短期大学就学補助制度を利用した人数」の部分、進学者が限定的である面からも、この1本で目標指標とするのは妥当ではないように考えます。せめて、「福祉系短期大学・大学・専門学校への進学者数」と抱合せで扱う指標にされたほうが良いと思います。 ・この指標は、取り組みに対する指標であって現状や課題の変化・改善の指標としては不足していると考えます。 | ○:計画修正あり | ご指摘の通り、現状や課題の変化・改善の指標には適さないことから、本指標を削除することとしました。代替として、次の指標を追加します。 【重層的支援会議開催数（単年）】 【成年後見制度市町村長申立人数（単年）】 【市民後見人登録者数（単年）】 | 福祉課 |
| 1 | 2 | 目標指標 | ・「ボランティアセンター登録者数(累計)」は、広い意味合いになっていないか、再度確認をして貰う必要があると思います。 ・この指標は、取り組みに対する指標であって現状や課題の変化・改善の指標としては不足していると考えます。 | ○:計画修正あり | 安来市社会福祉協議会内に設置されている安来市ボランティアセンター登録者数を指します。ご指摘の通り、本指標は取組の進捗を測る指標としては有効ですが、実際の活動実態や地域課題の変化・改善を評価するには不十分なため、削除します。代替として、次の指標を追加します。 【重層的支援会議開催数（単年）】 【成年後見制度市町村長申立人数（単年）】 【市民後見人登録者数（単年）】 | 福祉課 |
| 1 | 2 | 目標指標 | 目標指数に、ボランティアセンター登録者数とありますが、取組みの部分でもよいので、ボランティアセンターの現状(設置されている機関や人数)を記載し市民に周知してはどうですか。 | ×:計画修正なし | 上記のとおり指標からは削除することとしました。 ボランティアセンターの現状については、社会福祉協議会との連携を通じて、周知の検討を行っていきたいと考えています。 | 福祉課 |
| 1 | 2 | 目標指標 | 安来市においては、県内他市と比較して成年後見制度の活用が進んでいない状況が見受けられます。そのため、制度の普及促進や実効性の向上に向けて、何らかのKPIを基本計画に盛り込むことをご検討ください。制度の利用状況や支援体制の整備状況を可視化することで、地域福祉の基盤強化にもつながると思われます。 (例)・市民後見人養成講座の受講者修了者数・新たに後見制度の利用につながった数etc. | ○:計画修正あり | 成年後見制度を利用する際、本人、親族が申立てを行う場合、直接裁判所に申立てをされることもあるため、市町村で申立てのすべての件数を把握することは難しい状況です。そのため、制度の利用については、申立てを行う親族がない場合に市町村長が申立てを行う件数、支援体制の整備状況については、市民後見人養成講座を修了後の登録者数を目標指数に追加します。 | 福祉課 |

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|---------------|--|----------|---|-------|
| 1 | 2 | 目標指標 | 来年度より本格実施となる重層的支援体制整備事業は、地域福祉の今後を左右する重要な取り組みであると考えます。特に、健康福祉部内の課を超えた横断的な連携体制の構築に加え、委託先である安来市社会福祉協議会との協働の質や実行力が、事業の成否に大きく影響すると捉えています。つきましては、こうした連携の実効性や事業の機能性を客観的に把握できるよう、具体的なKPIの設定をご検討ください。 (例)・月次または四半期ごとの連携会議の開催回数・各課からの参加率(出席者数/対象者数)・会議後のアクション項目の実施率etc. | ○:計画修正あり | 市及び市社協、並びに対象事例に関する関係支援機関等からなる重層的支援会議の開催回数をKPIとし、目標指数に追加します。 | 福祉課 |
| 1 | 2 | 目標指標 | 地域福祉の現状と課題はなるほどと思いましたが、その指標がこれですとなんだかピンときません。成年後見制度利用数とかなら理解できますが。 | ○:計画修正あり | 指標【健康福祉短期大学就学補助制度を利用した人数】【ボランティアセンター登録者数(累計)】を削除し、代替として次の指標を追加します。 【重層的支援会議開催数(単年)】 【成年後見制度市町村長申立人数(単年)】 【市民後見人登録者数(単年)】 併せて「現状と課題」において次の記載を追加します。 【◆近年、高齢化の進展に伴い、認知症高齢者や一人暮らしの高齢者が増えており、生活に困難を抱える人の増加が見込まれます。認知症や障がい等により、判断能力が十分でない人が、財産の管理や必要な介護・福祉サービスの利用支援などを受けながら、尊厳ある地域生活を継続できるよう、成年後見制度の利用促進と支援体制の充実が必要です。】 | 福祉課 |
| 1 | 3 | 取組の方向 | ・気軽に続けるサロン等の充実を検討するためには、現状調査が必要ではないでしょうか?現状を把握し、気軽に続けるサロン等の充実を~ | ○:計画修正あり | 「取組の方向」を次のとおり修正します。 【・地域で高齢者が孤立しないよう、現状を把握し、気軽に続けるサロン等の充実を検討します。】 | 介護保険課 |
| 1 | 3 | 取組の方向 目標指標 | 第9期安来市介護保険事業計画においては、「介護人材の確保・育成」が重要な課題として位置づけられており、特に第3章において、介護人材の不足や離職率の高さ、若年層の参入促進の必要性などが明記されています。また、介護サービスの安定的な提供のためには、地域の実情に応じた人材確保が不可欠であることが強調されています。しかしながら、現状と課題の整理において「介護人材の確保」が掲げられている一方で、具体的な取り組みの方向性や実効性のある施策については、十分に言及されていない印象を受けます。介護人材の確保や育成は、実務上は各法人が担う領域ではありますが、安来市としても、介護保険事業計画に基づくサービス提供量を維持するために必要な人材数を算出し、官民が連携して人材確保に取り組む姿勢を、より明確に打ち出すべきではないかと考えます。そのためにも、以下のようなKPIを設定し、基本目標4(3)【介護人材の確保及び介護現場の生産性の向上】を進めるため、介護人材の確保状況や育成支援の進捗、サービス提供量との関係性を可視化することをご検討ください。 (例)・介護人材充足率(必要人員に対する実働人員の割合)・事業所縮小、撤退件数(年間で規模縮小、閉鎖した事業所数)etc. | ○:計画修正あり | 介護人材の確保状況や育成支援の進捗、サービス提供量との関係性につきましては、3年毎に策定する「安来市高齢者福祉・介護保険事業計画」において詳細なデータを用いて可視化されますので、基本計画において盛り込む考えはありません。 しかし、KPIを設定して基本目標を進める上での指標の必要性については、ご指摘いただいたとおりですでの、「目標指標」に【介護職員初任者研修の修了者数(単年)】を盛り込みます。 | 介護保険課 |
| 1 | 3 | 目標指標 | ・★の印の意味がよくわかりませんでした(以降、他の節でも同様) | ×:計画修正なし | ★印がついている指標は、デジタル庁が提唱する「地域幸福度(Well-Being)指標」に定められる項目です。毎年行われる全国Well-Being調査により、指標の経年把握及び他自治体との比較が行える統一的な指標となっています。 | 政策企画課 |
| 1 | 3 | 目標指標 | ・現状と課題を的確にモニタするには、例えばシルバー人材センター会員の生きがいや充実をモニタする必要はないでしょうか? | ×:計画修正なし | シルバー人材センター事業については、活動の支援を行うものであり、モニタリング等を実施する予定はありません。 | 福祉課 |
| 1 | 3 | 目標指標 | 高齢者クラブ参加人数や敬老事業についての数値も指標にしてよいのでは? | ○:計画修正あり | 【高齢者クラブ連合会加入者数】を指標として追加します。 敬老事業については、実施主体が地区によって自治会、地区社協、施設等と異なるため、指標には加えません。 | 福祉課 |
| 1 | 4 | 取組の方向 | ・福祉施設から一般就労への移行を←福祉施設とは具体的にはどのような施設?一般就労とはどこへの就労?どこまでを定義に含めているかを指定しないと、目標指標がモニタできないのではないかと思いました | ○:計画修正あり | 福祉施設は、就労移行支援事業所、就労継続支援A型ならびにB型事業所など、障がい福祉サービス事業所としており、一般就労については、サービス事業所以外の事業所への、障がい者雇用、パート雇用も含めた就労を含めています。それぞれ次のとおり注釈を加えました。 ※福祉施設：就労移行支援事業所、就労継続A型支援事業所、就労継続B型支援事業所 ※一般就労：障がい者雇用、パート雇用含 | 福祉課 |

委員意見回答

資料5

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|-------|---|----------|--|-----------------------|
| 1 | 4 | 取組の方向 | 障がい児の就学時の支援サービスの充実・強化に取り組みを行う(養護学校への送迎など) | ×:計画修正なし | 通学等の移動支援については、取組【・乳幼児期から学校卒業まで一貫した効果的な支援を身近な場所で提供する障がい児支援サービスの提供体制を充実・強化します。】に包含するものです。支援サービスの具体については、分野別計画である「安来市障がい者基本計画」において示すこととしています。 | 福祉課 |
| 1 | 4 | 目標指標 | ・就労に関してだけいえば、事業所の法定障害者雇用比率の達成度などをモニタする、もしくは現状把握する必要はありませんか? | ×:計画修正なし | 福祉施設利用者の就労は特定の事業所では無く、市内や市外の様々な業種の事業所での就労となります。そのため、各事業所の法定障害者雇用比率の把握は難しく、障害者雇用やパート雇用も含めた一般就労の件数把握までは出来ない状況です。 | 福祉課 |
| 1 | 4 | 目標指標 | 障がい児支援サービスの充実かわかる指数があれば入れてほしい。 | ×:計画修正なし | サービス提供体制を整えるため庁内関係課及び関係機関を含めた協議を開始する段階のため、具体的な指数を示すことが難しいです。また、サービス提供事業所数や定員については、事業所の意向によるところであり、こちらも指数を示すことが難しいです。 | 福祉課 |
| 1 | 5 | 現状と課題 | ・ステイグマ←語の説明が必要だと思います ・アウトリーの支援←アウトリーというカタカナを使わないほうが伝わりやすいと思います | ○:計画修正あり | ・「ステイグマ」を「差別や偏見」に置き換えます。 ・「訪問支援（アウトリー）」に修正します。 | 福祉課 |
| 1 | 5 | 現状と課題 | ・安定的な国保運営←安定的な制度運営?(この文書内で、略称の使用定義がないので) | ○:計画修正あり | ご指摘の通り、【安定的な国保運営】を【安定的な制度運営】に修正します。 | 市民課 |
| 1 | 5 | 取組の方向 | ・3点目以降は、具体的な行動のみが記載されていて、1・2点目との差を感じます。また、3・4点目は8点目の具体ではないでしょうか。記述のレベルを揃えて貰う必要があると思いました。 | ○:計画修正あり | <p>次のとおり整理・修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活に困っている方を支援する。 ・生活保護法に基づいて必要な支援を行います。 ・生活困窮者自立支援法に基づいて必要な支援を行います。 ●医療費適正化の取り組みを推進する。 ・特定健康診査及び後期高齢者健診等の受診率を向上します。 ・後期高齢者歯科口腔健診を実施します。 ・高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。 ●各種社会保障制度を安定して運営する ・国民健康保険税収納率を向上します。 ・国民健康保険制度の健全な財政運営と適正な保険給付に努めます。 ・国民年金制度を周知徹底する啓発活動を実施します。 | 福祉課 いきいき健康課 市民課 |
| 1 | 5 | 目標指標 | ・2点目は実数であるべきか、率であるべきか、十分に議論された結果でしょうか。 | ×:計画修正なし | 母数が低いため、1名の動きでかなりの率変化となります。そのため、支援対象者数の変動も少ないとから絶対評価としての指標としています。 | 福祉課 |
| 2 | 1 | 現状と課題 | ・「ヤングケアラー」は、現状はしっかりした定義がある言葉ではなく、やや流行語的なところがあるため、注釈をつけたほうが良いと思います。 | ○:計画修正あり | <p>次のとおり注釈を追記します。</p> <p>※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていること も・若者のこと。</p> | 子ども未来課 |
| 2 | 1 | 現状と課題 | 子どもの体調不良時(病気・感染症発症時など)に仕事が休みにくい現状を企業側も理解をし、休みやすいようにする。社会全体で親に我が子の命を守る責任を感じれるような風土を作る。※病児保育という手段もあるけれど、子どもにとっては親が傍にいることが心身共に安心出来ると考える所以。 | ×:計画修正なし | ご指摘のとおり、働きながら子育てをする女性や育児参加する男性、多様な働き方やワークライフバランスを求める労働者からも、仕事と育児の両立支援が求められており、現状、国と企業が連携して仕事・子育て両立支援事業に取り組んでいます。当市としてもこの取組に賛同するものではありますが、市としての事業計画を持つものではないため、今回の計画への反映は見送ります。 | 子ども未来課 |

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|------------------|--|----------|---|--------|
| | 2 | 1 現状と課題 取組の方向 | ・現状と課題の3点目に対する方向性が見えにくいと思います。また全体として現状と課題で整理した3つの要点に対応するように、整理が必要ではないでしょうか。 | ○:計画修正あり | <p>記載内容について、「早期の養育支援を行い、児童虐待を未然に防ぐためには、学校・家庭・地域の連携体制の強化が必要とされており、地域の人材とその豊富な経験を活用した、社会全体で子育てを行う仕組みづくりの構築が求められています。」と整理し、修正します。</p> <p>併せて「取組の方向」について、次のとおり整理・修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安心して子どもを産み育てる環境をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・結婚を望む方の出会いを支援します。 ・親子の健康を支援します。 ・ひとり親家庭を支援します。 ・障がいのある子どもがいる家庭を支援します。 ●子どもの成長過程に応じた切れ目ない支援を行う <ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭センターを核として、個々の家庭に応じた相談体制の充実を図ります。 ・子どもや子育て世帯を支援し、保育・教育の充実を図ります。 ・子育て支援サービスの充実を図ります。 ・思春期の保健対策を進めます。 ・高校生年代までの医療費の自己負担を無料とします。 ●関係機関、団体が情報共有と連携を図り、子育てを支援する <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの充実を図ります。 ・「安来市子ども・子育て推進会議」において、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で子育てを推進します。 | 子ども未来課 |
| 2 | 2 | 現状と課題 | ・箇条書きの2点目地域社会中で→地域社会のなかで? | ○:計画修正あり | 【地域社会中で】を【地域社会の中で】に修正しました。 | 政策企画課 |
| 2 | 2 | 現状と課題 | ・箇条書きの5点目だけが他から浮いています。この文章は箇条書きではなく、冒頭の説明文では?(~も踏まえ、以下のような様々な課題の解決を図り・・・?) | ○:計画修正あり | <p>箇条書き5点目を削除し、1点目の文末に加筆しました。</p> <p>【◆子どもを取り巻く現状は～（中略）～安心して快適に学習できる教育環境の整備が求められています。安来市では総合教育会議の方針に基づき、以下のような課題の解決を図り、教育改革を進めていく必要があります。】</p> | 学校教育課 |
| 2 | 2 | 取組の方向 | ・ふるさと教育を推進する、の下位概念に環境教育があるのは少し違和感があります(現状と課題にも書かれていない)。現状と課題の書きぶりを見る限り「地域社会とともに使う教育の推進」などの項目名のほうが良いのでしょうか(用語的には、社会に開かれた教育課程など指導要領等とも合わせてみても良いと思います) | ○:計画修正あり | <p>次のとおり整理・修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域社会とともに使う教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育を推進します。 ・キャリア教育を推進します。 ・環境教育を推進します。 ・平和教育を推進します。 | 学校教育課 |
| 2 | 2 | 取組の方向 | 「ふるさと教育を推進する」において「平和教育を推進します。」のみに「安来の特色を生かした」とあるが、特段の理由があるのか（全てのふるさと教育について安来の特色を生かすのではないのか）。 | ○:計画修正あり | 特段の理由はありませんので、「安来の特色を生かした」の記載を削除します。 | 学校教育課 |
| 2 | 2 | 目標指標 | ・目標指標について、これまでと同様、通常の取り組みで結果として出てくる数値のみになっているのが残念に思います。もう少し積極的に、市独自で現状把握されてはどうでしょうか。例えば、学校図書館活用教育の推進となるならば、貸出冊数の推移等なら新たな調査をしなくとも数値が取れるのでは・・・?また、取り組みの方向性に市立図書館との連携の充実とありますが、目標指標には見えてきません。KPIというよりKGI発想での指標設定であるためかもしれません・・・ | ○:計画修正あり | <p>指標として、【小中学校図書館の平均貸出冊数（単年）】を追加します。</p> <p>また取組の方向【・学校図書館活用教育を推進します。（市立図書館との連携の充実）】について、市立図書館から学習に必要な本を借りたり、市立図書館司書にストーリーテリングを行ってもらうなどの連携はありますが、今後大幅に連携を強化する予定はないため、括弧内の記載は削除いたします。</p> | 学校教育課 |
| 2 | 2 | 目標指標 | 安来市の学校について、通学しやすいといつていよいのでしょうか??? | ×:計画修正なし | <p>★印がついている指標は、デジタル庁が提唱する「地域幸福度（Well-Being）指標」に定められる項目です。毎年行われる全国Well-Being調査により、指標の経年把握及び他自治体との比較が行える統一的な指標となっています。</p> <p>本指標の設定により、市民の通学環境に対する満足度を経年把握することを目的としています。</p> | 政策企画課 |
| 2 | 3 | 現状と課題 | ・3点目、～長い時間がかかり→長い時間がかかることがあるため? | ○:計画修正あり | 「長い時間がかかることがあるため」に修正します。 | 福祉課 |

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|-------|---|----------|---|---------|
| 2 | 3 | 現状と課題 | ・4点目はどちらかというと「取組の方向」ではないでしょうか? | ○:計画修正あり | 現状と課題から削除し、取組の方向「●ふるさと教育を推進する」を次のとおり修正します。 ●生涯学習のための機会を充実させる ・講座や学習活動等の機会の充実を図ります。 ・学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが体験活動を行う機会を充実させます。 ・地域の魅力の再認識を図ります。 | 地域振興課 |
| 2 | 3 | 取組の方向 | ・2点目は2章2節と重複していますが、整理の必要性はありませんか? | ✗:計画修正なし | 2章3節単体で読んでも青少年を取り巻く環境と課題がわかるよう、学校教育分野について再掲しています。 | 政策企画課 |
| 2 | 3 | 目標指標 | ・「取組の方向」で図書館を「知のくつろぎ空間」と定義づけるのであれば、必ずしも一人あたりの貸出冊数が目標指標にはならないのではないでしょうか。利用者数等も指標に加えてはどうでしょうか。 | ○:計画修正あり | 館内での図書利用や、図書館で開催される各種行事等の効果を図る指標として、【安来市立図書館入館者数（単年）】を追加します。 | 文化課 |
| 2 | 3 | 目標指標 | 課題がたくさんあるのに指標が図書館貸出数だけでは少ないといます。子ども若者総合相談窓口の利用数とか、支援事業や色々あると思います。 | ✗:計画修正なし | 子ども・若者総合相談窓口や居場所事業等については、主としてひきこもりの人の利用を想定しており、本人の意思や回復の期間の度合いに拠るため、事業内容からすると利用件数や支援の効果などを目標指標とすることは難しいと考えます。 | 福祉課 |
| 2 | 4 | 現状と課題 | ・1点目は、そもそもなぜ自主的なスポーツ活動が展開される必要があるのか、その背景を述べる必要はありませんか(健康寿命延伸など) ・2点目と3点目は順序が逆ではないでしょうか?より広い市民を対象とした語りから具体に下ろすほうが自然かと思います(取り組みの方向性とも整合させる必要あり) | ○:計画修正あり | ・スポーツ活動の必要性について説明するため、1点目の文頭に「◆適性や健康状態に応じてスポーツを行うことは、心身の健康の保持増進につながります。～」と加筆しました。 ・2点目と3点目の順序を入れ替え、それに合わせて取組の方向の記載順を変更しました。 | 地域振興課 |
| 2 | 4 | 目標指標 | ・1つの指標だけで取組の状況を評価することが可能なのか、吟味頂く必要がないでしょうか | ○:計画修正あり | 現状と課題「◆地元スポーツの競技力向上～」に対応する指標として、「スポーツ全国大会等出場激励金交付者数（単年）」を追加します。 | 地域振興課 |
| 2 | 5 | 現状と課題 | ・1点目 総合文化ホール→安来市総合文化ホール(用語の統一) ・2点目 全国に通ずる→全国に誇る?全国の〇〇に通ずる?(現状は表現として語が不足) ・2点目 潜在的価値←現状すべての価値が潜在しているように読み取れます… ・2点目 保存継承・文化観光・人材育成の活動←レベルが揃った語ではないので、「・」による並列表記に違和感があります。特に「文化観光」の活動とは…?と引っかかりました。 | ○:計画修正あり | ・「安来市総合文化ホール」に統一します。 ・【全国に通ずる】を【全国に誇る】に修正します。 ・【潜在的】を削除します。 ・【保存継承体制を整えるとともに、観光との連携や、郷土の担い手育成を～】に修正します。 | 文化課 |
| 2 | 5 | 取組の方向 | ・2点目は、「現状と課題」の2点目と整合させて整理するとよいように思います。 | ✗:計画修正なし | 課題に対処するための主な取組を挙げています。 | 文化課 |
| 2 | 5 | 目標指標 | ・施設名称は正式な物に統一 | ○:計画修正あり | 「安来市総合文化ホール」「和鋼博物」「安来市立歴史資料館」に統一します。 | 文化課 |
| 3 | 1 | 現状と課題 | ・2点目 初動時の人員不足とは具体的にはどの場における人員不足?総合力の向上策ももう少し説明があるほうが齟齬なく伝わると思います。 | ○:計画修正あり | ・具体例を示すため、文頭に「◆市域が広範囲にわたるため、中山間部の避難所開設など、～」と記載を追加しました。 | 防災課 |
| 3 | 1 | 現状と課題 | ・大規模災害発生時において、という項目を独立して立てているならば、どのような大規模災害なのか、明確にする必要はありませんか? | ✗:計画修正なし | ・大規模災害の対象として「島根県地震・津波被害想定調査（H30. 3）」における本市の最大被害を見込まれる「鳥取県沖合（F55）断層の地震」を想定していますが、災害は地震だけではないため大規模災害として記載しています。 | 防災課 |
| 3 | 1 | 目標指標 | ・自主防災組織数は、累計である必要があるでしょうか? | ○:計画修正あり | 自主防災組織は既に市内全域で発足し、毎年の確実な増加を見込めないことから累計としていました。今後は新規の組織発足より既存組織の活動拡充を支援していく状況であることから、組織数については目標値から外すこととします。 | 防災課 |
| 3 | 2 | 取組の方向 | ・見え消しが残っています | ○:計画修正あり | 見え消しを削除しました。 | 政策企画課 |
| 3 | 2 | 目標指標 | ・単独の目標指標であることが気にかかります。「取組の方向」に記載のある消防団協力事業所や「しまね消防団応援の店」は、指標にはなり得ないでしょうか | ○:計画修正あり | 【消防団協力事業所数】を目標指標として設定します。 | 消防総務課 |
| 3 | 3 | 現状と課題 | ・3点目～ために、自立を支援するための～←2つ目の「ための」の部分はなくても文章が成立するように思いました | ○:計画修正あり | 【自立を支援するための】を【自立を支援する】に修正します。 | 人権施策推進課 |
| 3 | 3 | 目標指標 | ・4点目のSNSによる消費者啓発記事閲覧「率」は把握が難しいのではないか具体的なSNSのプラットフォームにもありますが、記事の発信件数およびリーチとインプレッションなどを比べるのでしょうか? | ✗:計画修正なし | 公用のX、Facebook、LINEを活用しての取り組みですが、1件の記事に対して、発信して1週間後（閲覧ピークが過ぎたころ）時点で、その日までの閲覧合計数をその時点のアカウント数で割った率を閲覧率としています。 | 人権施策推進課 |
| 4 | 1 | 現状と課題 | ・1点目は他の項目と同様に併記されているのに違和感がある内容になっています(取組の方向?) | ○:計画修正あり | 1点目を次のとおり修正します。 【◆市内で生産された安心・安全な農産物を、消費者にPRして提供する機会の創出や、安定した生産量の確保が求められています。】 | 農林振興課 |

委員意見回答

資料5

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|-------|--|----------|--|-------|
| 4 | 1 | 取組の方向 | ●豊かな自然、地域の特性を生かした農林水産業を展開する ●営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する。 こうした項目のカテゴリーになると思いますが、次の点について方向性に加えていただきますよう検討お願いします。 ・基幹作目である水稻の栽培省力化と生産性向上 ・安来に合う水稻品種の導入とブランド化推進 | ○:計画修正あり | 「●豊かな自然、地域の特性を生かした農林水産業を展開する」に次の取組を追加します。 【・基幹作目である水稻の栽培省力化や、安来に合った栽培体系への転換による生産性向上を図ります。】 | 農林振興課 |
| 4 | 1 | 取組の方向 | ●豊かな自然、地域の特性を生かした農林水産業を展開する ●営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する。 こうした項目のカテゴリーになると思いますが、次の点について方向性に加えていただきますよう検討お願いします。 ・スマート農業・農業DX化を推進し、自動操舵、デジタルマップ、マップデータ、施設栽培のデータなど、技術やデータの活用や開発研究をすすめ、生産の効率化と収益性向上、またそれをベースにした担い手確保にもつなげる取り組みを進めます。 | ○:計画修正あり | 「●生産基盤を強化する。」に次の取組を追加します。 【・スマート農業を推進し、省力化と生産性の向上を図ります。】 | 農林整備課 |
| 4 | 2 | 現状と課題 | ・全体的に、現状と課題の説明を超え、課題設定=取組の方向性が既に含まれた表現になっています(～により、～展開するなど、等)。次項と整理をしたほうが良いように思います。 | ○:計画修正あり | ご指摘を踏まえ、「現状と課題」を次のとおり修正します。 ◆20代前半の主な転出理由は就職となっており、多様な就労ニーズを満たす就業機会の充実を図り、就学のために転出した若者が安来市に戻ってくる流れをつくる必要があります。 ◆市内の小売業、飲食サービス業等の事業所数は年々減少しており、商業機能の維持、買い物の便利さ・多様化への対応が求められています。 ◆物価や賃金の上昇、人材不足など中小企業・小規模事業者等を取り巻く環境が厳しさを増す中、人材育成や人材確保、販路拡大や経営基盤強化などが求められています。 | 定住産業課 |
| 4 | 2 | 取組の方向 | ・就労環境の改善支援などの方向性はありませんか?特に今後外国人の方の就労が増えることを見込み、施策を準備したり現状を把握するなどの方向性を入れ込むほうがより建設的な計画になるように思いました | ×:計画修正なし | ・就労環境の改善支援については、国や県が主体的に取り組んでいる内容であり、市における具体的な取組は行っていないため、現状では取組の方向への記載には至らないと考えます。また、外国人就労につきましても、7章4節の「多文化共生・国際交流の推進」の包括的な記載による対応をしたいと考えています。 | 定住産業課 |
| 4 | 2 | 取組の方向 | ・ハロワーク安来やジョブカフェしまねとの連携などは明文化されてなくて良いでしょうか?(安来市内への人材還流を目的にして、すでに連携があるものとして記述しています) | ○:計画修正あり | ・具体的な連携対象について表記することはいたしませんが、現状と課題の整理も踏まえ、取組の方向「・地元高校生・大学生等や、Uターン者の市内企業への就職を推進します。」の文頭に「関係機関と連携し、」を追加します。 | 定住産業課 |
| 4 | 2 | 目標指標 | ・新規開店件数は、取組の方向との部分と対応するかわかるようにしたほうがいいかと思います | ○:計画修正あり | 取組の方向「・中心市街地、中山間地域等の地域に対応した商工業振興を図ります。」の冒頭に、「創業支援、事業者支援を通じ、」を追記します。 | 定住産業課 |
| 4 | 3 | 現状と課題 | ・1点目、文章がやや長くて文意を読み取りづらいです(「豊かな資源」の修飾語はどれ…?豊かな資源を調査するって具体的には何…?)また、「～実践とともに」「～を設定するなど」は、「取組の方向」ではないでしょうか? ・2・3点目、これも「取組の方向」が混じった記載になっているようです ・4点目、「組織力強化」も「取組の方向」?これをすべきであるという背景(現状と課題)があるので? | ○:計画修正あり | ご指摘を踏まえ、文章を簡潔に修正するとともに、取組の内容となる記載について削除しました。 | 観光振興課 |
| 4 | 3 | 取組の方向 | ・現状と課題に対応する形で整理するとわかりやすくなると思います | ○:計画修正あり | 修正後の「現状と課題」に合わせて、「取組の方向」を修正しました。 | 観光振興課 |
| 4 | 3 | 目標指標 | ・KGI的指標になっているかと思いますが、取組の状況をモニタするならば、もう少し抽象度を下げた指標を作ってもいいかと思いました(例:安来市の観光系公式SNSのリーチ・インプレッション等) | ○:計画修正あり | 【SNS(観光協会Instagram・X)閲覧数(単年)】を指標として追加します。 | 観光振興課 |
| 4 | 3 | 主な事業 | 「月山富田城誘客推進事業」とありますが、富田城や尼子氏に関しての文化観光を活発に推進されている近隣市町村(中国地方の県など)がありますので、連携して観光振興に取り組む事業も取り上げてはいかがですか。 | ×:計画修正なし | 「主な事業」に「●広域観光事業」を掲げており、このなかで取り組みたいと考えています。 | 観光振興課 |
| 5 | 1 | 現状と課題 | ・1点目「少子高齢化といった社会経済状況の変化に伴い」の部分が、その直後と整合していないように感じます。単に「社会経済状況の変化に伴い」でも良いように思います。またここに書かれていることが、「取組の方向」の3点目「災害に強い交通施設を整備する」に対応するかと思います。対応が見やすいように整理をされてはどうでしょうか。 | ○:計画修正あり | ご意見のとおり、「現状と課題」1点目から「少子高齢化といった」を削除します。 「現状と課題」の記載順に合わせて、「取組の方向」を次の記載順に変更します。 ●災害に強い交通施設を整備する ●利便性の高い生活基盤(道路網)の整備を進める ●公共交通の充実を図り、生活の安心を確保する | 土木建設課 |
| 5 | 1 | 現状と課題 | ・3点目と4点目は、公共交通の課題として、合わせて1つにするほうがいいのでは? | ○:計画修正あり | ご意見のとおり、3点目と4点目を統合しました。 | 地域振興課 |

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|-------|--|----------|--|-------|
| 5 | 1 | 目標指標 | 私の住んでいる地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところに行けるは理想であって、現実はほど遠いと思います。これは書くことはできないと思います | ×:計画修正なし | ★印がついている指標は、デジタル庁が提唱する「地域幸福度（Well-Being）指標」に定められる項目です。毎年行われる全国Well-Being調査により、指標の経年把握及び他自治体との比較が行える統一的な指標となっています。 本指標の設定により、市民の公共交通に対する満足度を経年把握することを目的としています。 | 政策企画課 |
| 5 | 2 | 現状と課題 | ・4点目（本市においては？）木造住宅の～ | ×:計画修正なし | 全ての節を通して安来市における状況について言及しているため、特段に区別すべき場合を除いて省略することとしています。 | 建築住宅課 |
| 5 | 2 | 現状と課題 | ・5点目（本市においては？）地籍調査事業の～ | ×:計画修正なし | 全ての節を通して安来市における状況について言及しているため、特段に区別すべき場合を除いて省略することとしています。 | 用地開発課 |
| 5 | 2 | 取組の方向 | ・1点目 どこを対象としたバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化? ・3点目 現状と課題のどこに対応? ・4点目 どこを対象とした耐震改修・長寿命化?1点目と同様ですが、どこを対象にした取組なのかを明確にしておかないと、あらぬ誤解を生みそうです | ○:計画修正あり | 「取組の方向」について、1点目「●バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を推進する」、3点目「●快適な住環境をつくる」、4点目「●耐震改修、長寿命化計画を進めストック比率を高める」を統合し、「●公営住宅等の耐震改修、長寿命化計画を進めストック比率を高める」としました。 | 建築住宅課 |
| 5 | 4 | 現状と課題 | ・最後の1文、少し変えて課題として書いてはどうでしょうか(取組の方向になってしまっているので)。例:そのために、～を進め、～を整えることが必要とされています。 | ○:計画修正あり | 指摘いただいた意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 【～そのために、地域・行政双方のデジタル技術活用を進め、市民一人一人に最適な行政サービス、誰一人取り残さない環境を整えることが必要とされています。】 | DX推進課 |
| 5 | 4 | 取組の方向 | ・フロントヤードはあまり一般的に使われている語ではないので、括弧書きで併記しなくとも良いように思いました。 | ×:計画修正なし | 国が全国に展開する事業名の一部となっており、主な事業【●フロントヤード改革推進事業】との対応のため現在の表記としています。 | DX推進課 |
| 5 | 4 | 取組の方向 | ・市民向けのサービスのDXだけでなく、庁内業務のDXも記載されてはどうかなと思いました。 | ○:計画修正あり | 庁内業務DXの取組として、【・業務効率化を図るためAIを活用します。】を追記しました。 | DX推進課 |
| 5 | 4 | 目標指標 | ・チャットボット等の対応件数はいらない? | ○:計画修正あり | 目標指標に【AIチャットボットの応答数（単年）】を追加しました。 | DX推進課 |
| 5 | 4 | 目標指標 | ・オープンデータの公開ファイル数は指標として妥当だと思いますが、ダウンロード件数までは、この計画策定内容ならなくともいいのかな、と思いました(オープンデータの市民活用・社会活用を推進する計画ではないため)。 | ○:計画修正あり | 目標指標を「オープンデータのダウンロード件数（単年）」とすべきところを誤って「オープンデータの公開ファイル数（累計）ダウンロード件数（月平均）」と記載していましたので、そのように修正します。安来市を含め、島根県の各自治体のオープンデータは、島根県が運用する「島根県オープンデータカタログサイト」にて公開しています。公開ファイル数については、安来市ではデジタル庁が推奨する「自治体標準オープンデータセット」に基づき、持ち合わせているデータについては可能な限り公開を行っている状況です（安来市の公開ファイル数：98種、県内他市町村の公開ファイル：1～40種）。安来市のオープンデータの公開ファイルは既に上限に近い状況であり、ほかに適当な指標もないことから、利用状況が分かるダウンロード件数を指標に選定したところです。 必要に応じた新規掲載と定期的なデータ更新を行ってまいります。 | 政策企画課 |
| 5 | 4 | 目標指標 | 「オープンデータのダウンロード件数（月平均）」について具体的にどのようなオープンデータを公開される予定なのか分からぬが、利用者や用途が限られてしまうため、ダウンロード件数だけではなく掲載するWebページの閲覧数も指標に加えてはどうか。 | ×:計画修正なし | オープンデータの公開状況については同上。 現況から、閲覧数よりもダウンロード件数を指標とする方が適当であると考えています。 | 政策企画課 |
| 5 | 4 | 主な事業 | 「庁内データのオープン化」はどの事業に対応しているのか。取組の方向に具体的に挙げられている項目のため、対応する分かりやすい事業名があった方が良いのでは。 | ○:計画修正あり | 「主な事業」に【オープンデータ事業】を掲載します。 | 政策企画課 |
| 5 | 4 | 主な事業 | DXの推進には利用者である住民と行政職員の意見および外部の専門的な知見が必須であるため、意見を集約する機会を創出する事業の実施や、外部有識者を各事業に関与させる取り組みをしてはどうか。 | ×:計画修正なし | 「分野別計画」に掲げる【●安来市DX推進計画】の中で、進めていきたいと考えます。同計画の中で地域全体のデジタル化を進め、DXを推進していくためには、計画を主導するDX推進課に加え、関係する各部課による全庁横断的な取組が必要です。本市のDX推進体制として、「DX推進会議」により、全体を統括した進捗管理を行っています。また、市民の皆様、市内企業や教育機関、国や県・近隣市町村からの意見等を適宜反映し施策を実行する、産学官民連携の体制にて取り組むこととしています。 | DX推進課 |
| 6 | 1 | 目標指標 | ★自宅の近辺では、騒音に悩まされている…これは??まちがい? | ×:計画修正なし | ★印がついている指標は、デジタル庁が提唱する「地域幸福度（Well-Being）指標」に定められる項目です。毎年行われる全国Well-Being調査により、指標の経年把握及び他自治体との比較が行える統一的な指標となっています。 本指標はWell-Being調査にある設問そのものであり、調査において回答者（市民）の居住環境に関する回答を促すため、記載のような文言になっていると考えられます。 | 政策企画課 |

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|---------------|--|----------|--|---------|
| 6 | 2 | 取組の方向 | 「再生可能エネルギー」と単に示すだけでは具体的にどのエネルギーの利用を推進するのか分からぬいため、太陽光や水力といった想定している具体的な対象を示した方が良いのでは。 | ○:計画修正あり | 取組の方向においては、新技術を含む幅広い再生可能エネルギーの利用を推進していくことを示すため、エネルギーの種類について具体的な記述をしていませんが、国内における主な再生可能エネルギーの種類の例示として、現状と課題に次の記載を追加します。 ◆従来のシリコン系太陽光発電や水力発電、風力発電、バイオマス発電、地熱・太陽熱利用等に加え、軽くて柔軟性に優れ、設置場所の大幅な拡大が期待できるペロブスカイト太陽電池や、より深い海域にも設置できる浮体式洋上風力発電のような、新技術による次世代再生可能エネルギーの研究が進んでいます。安来市においても、新技術を含む幅広い再生可能エネルギーの利用可能性について検討する必要があります。 | 環境政策課 |
| 7 | 1 | 取組の方向 | 市民のまちづくりへの参加については、従来の対面や紙媒体による意見収集の方法を維持しつつ、若者の定住促進も視野に入れ、デジタル上での意見反映の機会を今後徐々に拡充していただきたいと考えます。たとえば、チームみらいが政党や自治体に無償提供している生成AIを活用した意見収集・行政施策への反映の仕組みは、参加のハードルを下げ、若年層の声をまちづくりに取り込む有効な手段となり得ます。こうした技術の活用を通じて、世代を超えた参加のかたちを模索していくことが重要です。さらに将来的には、現在役所内に設置されている多くの審議会や検討会に代わる可能性も秘めていると考えます。第5章第4節「DXの推進」とあわせて、積極的に取り組まれることを期待します。 | ✗:計画修正なし | 既に府内一部業務において業務効率化のため生成AIを活用するなど、デジタル新技術を段階的に導入し、活用範囲を広げるべく検討しているところです。一方で、新技術の活用については安全性・信頼性の面での議論があることから慎重に判断すべき部分もあり、今後の動向を注視していかたいと考えております。 | 政策企画課 |
| 7 | 1 | 取組の方向 目標指標 | 現状と課題において「市職員が市民活動に関わる機会の充実」が掲げられていますが、その関わりが私生活上の参加に限定されるのではなく、日常業務の中で市民や関係団体との対話の機会を積極的に増やす取り組みとして位置づけていただければと考えます。業務を通じた関係性の構築こそが、市民との信頼や協働の土台となり、地域課題への実効的な対応にもつながると思われます。 (例)・市民満足度調査への職員寄与実感スコア(市民の声が自分の仕事にどう反映されたかを職員が自己評価)※市民志向とやりがいをつなぐ指標としてetc. | ✗:計画修正なし | ご提案の「職員寄与実感スコア」については、施策評価と現場の業務改善を結びつけるための指標として期待できるものと認識しております。一方で、職員の認識に依存する主観的な指標であり、政策判断の基礎としての一貫性・再現性を確保するには限界があると考えており、指標設定は見送ります。 | 地域振興課 |
| 7 | 1 | 目標指標 | 職員の市民活動への参加は本当によい取組だと思います。忙しい働き方改革はあろうかと思いますので、今後、市民活動に参加したら代休がとれるとかポイントがたまって何か良いことがある。という体制にしていけば、もっと市役所の職員さんと地域が活性化されると思うのですが...。これはぜひ取組んでほしいです。 | ✗:計画修正なし | 職員の市民活動参加は、市民の幸福の実現に資する重要な取組であり、働き方改革の点においても市民活動との両立を図る仕組みづくりが一層進展できればと考えています。一方で労務管理上、ポイントによる代休付与といった制度導入は服務規程・予算配分・公平性の観点から慎重に検討すべき課題が多くございます。ご提案については時間を頂戴しながら関係部局で精査したいと思います。 | 地域振興課 |
| 7 | 3 | 現状と課題 | ・男女共同参画やマイノリティについての現場や課題が触れられていない(抽象化されすぎている)ため、取組の方向と整合していないように読みます。1点目をもう少し充実させた書きぶりのほうがいいのではないかでしょうか。 | ○:計画修正あり | ご指摘を踏まえ、1点目を次のとおり修修正しました。 ◆多様化する現代社会においては、様々な人権問題が存在しています。思い込みや偏見からの差別等の人権侵害や、DVやハラスメント、男女格差など依然として多くの人権課題が生じています。人権に関する課題に気づき、自らの課題として解決に向け主体的に取り組んでいくよう、一層の教育、啓発の推進が必要です。 | 人権施策推進課 |
| 7 | 3 | 取組の方向 | ・1点目「企画決定」とは何でしょうか? ・2点目 記述順序は現状と課題に合わせて整理したほうがいいのでは? ・4点目 暴力が「男女間の」に限定されている理由は何でしょうか ・全体的にもう少し公正な目で表現・書き方を精査される必要があると思います | ○:計画修正あり | 1点目：「企画決定」とは、様々な計画や政策立案、実施などの内容を協議し決定することです。 わかりやすく「企画決定」を「計画策定や政策立案とその実施」に置き換えます。 2点目：記述順序を整理します。 4点目：「男女間の」に限定されるものではないので、修正します。 ・男女に限定される表現については修正しましたが、男女共同参画計画に基づく表現もあり、一部未修正としています。 | 人権施策推進課 |
| 7 | 4 | 現状と課題 | 安来市に200人以上いる外国人住民の社会参加がまだ少ないと思います。多文化共生事業の参加募集だけでなく、企業をまきこんだ展開が必要だと思います。初期の日本語教室や生活一般講座など、安来市として、パッケージ化して、安来に転入してきた外国人さんともっと転入時にコミュニケーションをとっておいて、その度に地域と問題がおこらないようにしたり、「どこの誰でどんな人?」をまず市役所が把握しておくことが相方にとて良いのではと思ったります。 | ✗:計画修正なし | ご意見ありがとうございます。外国人住民の国籍や働き先などの把握については、個人情報保護の観点から一律に聞き取りを行うことは難しいと考えます。 しかし、外国人住民に社会参加を促すことは重要な取組だと認識しており、市で把握している外国人従業員を雇用している企業に対しては、適宜情報提供を行っております。今後も引き続き企業との連携を強め、外国人住民への積極的な情報発信を行ってまいります。 | 政策企画課 |
| 7 | 4 | 取組の方向 | ・目標指標や主な事業の「多文化共生事業」が、取組の方向とも整合した表現がある方が良いと思います。 ・記述の順序が、1点目と2点目は逆のほうが良いのではないでしょうか。 | ○:計画修正あり | ・目標指標の「多文化共生事業の参加者」が分かりにくいため、「多文化共生イベントの参加者数（単年）」に修正します。 ・1点目と2点目の順を入れ替えます。 | 政策企画課 |
| 7 | 5 | 現状と課題 | ・2点目と3点目は順番が逆ではないでしょうか? ・2点目の「好機」は、既に過去のことであって古くないですか? | ○:計画修正あり | ・掲載順を修正し、内容を修正しました。 | 政策企画課 |
| 7 | 5 | 取組の方向 | ・現状と課題に整合させて整理する必要があると思います。 | ○:計画修正あり | 市の魅力PRについて内容を修正し、掲載順を修正しました。 | 政策企画課 |

| 章 | 節 | 項目 | 意見等 | 計画修正 | 内容 | 担当課 |
|---|---|--------|---|----------|--|---------|
| 7 | 5 | 取組の方向 | ・3点目内～再構築(BPR)←ここまで日本語で丁寧に記述されているので、略称BPRだけだとよりわかりにくいと思います。BPRを削除するか、(BPR：Business Process Reengineering)とフルスペルアウトにしたほうがいいかと思います。 | ○:計画修正あり | 文言修正はせず、次のとおり注釈をつけます。 ※BPR：Business Process Reengineering | D X 推進課 |
| 7 | 5 | 取組の方向 | ・5点目内 設計図書は行政用語ですので、説明を付記するか換言する、注釈をつけるなどをしたほうがいいと思います。 | ○:計画修正あり | 文言修正はせず、次のとおり注釈をつけます。 ※設計図書：設計者の意図を施工者に伝えるための設計図や仕様書などの書類全般のこと。 | 財政課 |
| 7 | 5 | 目標指標 | ・取組の方向「●市の魅力を広域的にPRする」についての指標がある方がいいと思います | ○:計画修正あり | 対応する指標として、「公式SNS登録者数（facebook、X、LINE、Instagram）」を追加しました。 | 秘書広報課 |
| 7 | 5 | 目標指標 | ・取組の方向「●開かれた市政を推進するため、情報収集や情報提供を行う」についての指標がある方がいいと思います | ○:計画修正あり | 対応する指標として、「公式SNS登録者数（facebook、X、LINE、Instagram）」を追加しました。 | 秘書広報課 |
| 7 | 5 | 目標指標 | ・取組の方向「●市民に必要な支援や手続きを速やか、かつ正確に行う」についての指標がある方がいいと思います | ○:計画修正あり | 窓口手続き時間の短縮の指標として、「転入届の操作に要する平均処理時間」を追加します。 | 市民課 |
| | | 基本構想地図 | 子どもに関わることが、中海ふれあい公園、銭太鼓ぐらいなのが気になります。個人的には、小学生の登校などの地域の見守り隊の方々なども他の地域にもおられるかもしれません、安心して通学が出来てよい取り組みと感じます。 | ○:計画修正あり | 地域の見守り隊の活動については、マップ上の「地域の力」「市民の力」に包含されると考えるため記載いたしませんが、誌面左側の「若者支援」について、わかりやすく「子育て支援が充実している」に修正します。 | 政策企画課 |